アグリコラボいとしま　ワークショップ

スマート農業の最前線とこれからの農業

ハイブリッド開催

人口減少や担い手不足、気候変動への対応が求められる中、スマート農業の先端技術への期待が高まっています。
本ワークショップでは、現在実用化されている技術と未解決課題を整理するとともに、今後１０年の技術革新の展望や補助金制度のあり方について考え、持続可能な農業の未来を展望します。

2026.11.14㊏

開場12:40　開演13:00

現地会場　九州大学 伊都キャンパス
（福岡市西区元岡744）
ウエスト5号館東棟2階大講義室（232号室）

オンライン　Zoom

事前申込（11.12㊍〆切）
当日参加可能・参加費無料

参加申込はこちらから

アカウント登録後、イベント詳細よりお申込下さい。（ご登録いただきますと次回から参加申込みが簡単にできます。）

QRコードをご利用いただけない場合は、下記お問い合わせ先まで、氏名、連絡先（電話番号・FAX番号・メールアドレス）および参加方法をご連絡ください。FAXでお申し込みの際は、裏面の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、お送りください。


岡安 崇史 教授



13：05～
国におけるスマート農業施策の推進
九州農政局生産部環境・技術課
課長　谷川 智雄 氏

13：25～
農家の目を代替する植物センシング技術は創れるか？
九州大学大学院農学研究院 環境農学部門
農業生産システム設計学研究室
教授　岡安 崇史 氏

14：05～
自動環境制御の課題とwelzo研究農場の取組み
株式会社welzo
BIZ PROMOTION Division R&D Dept.
研究農場/研究開発室
課長　尾崎 剛教 氏

15：00～
農研機構における露地栽培向けスマート農業技術の研究開発事例
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター
研究員　小野 渓太 氏

15：40～
最新機器のご紹介
クボタアグリサービス株式会社 福岡事務所
福岡担い手推進部 部長　神田 悦孝 氏

16：30～
大学内施設見学（希望者のみ先着20名）

主催・糸島農業産学官連携推進協議会　(通称 アグリコラボいとしま)

お問い合わせ　アグリコラボいとしま事務局　092-802-4700　ito-office@agr.kyushu-u.ac.jp

アグリコラボいとしま　ワークショップ

スマート農業の最前線とこれからの農業

13:00-13:05　開会挨拶

13:05-13:25　国におけるスマート農業施策の推進

九州農政局生産部環境・技術課　課長 谷川 智雄 氏

13:25-14:05　農家の目を代替する植物センシング技術は創れるか？

九州大学大学院農学研究院 環境農学部門 農業生産システム設計学研究室

九州大学データ駆動イノベーション推進本部 デジタル社会創造研究部門 データ駆動型農業研究ユニット

教授 岡安 崇史 氏

14:05-14:45　自動環境制御の課題とwelzo研究農場の取組み

株式会社welzo BIZ PROMOTION Division R&D Dept.　研究農場/研究開発室

課長 尾崎 剛教 氏

14:45-15:00　休憩

15:00-15:40　農研機構における露地栽培向けスマート農業技術の研究開発事例

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

九州沖縄農業研究センター 水田作スマート化グループ　研究員 小野 渓太 氏

15:40-16:00　最新機器のご紹介

クボタアグリサービス株式会社 福岡事務所 福岡担い手推進部　部長 神田 悦孝 氏

16:00-16:15　質疑応答

16:15-16:20　閉会挨拶

終了後、参加希望者（20名）大学内施設見学

参加申込書

申込期限：11月12日（木）　FAX送信先：092-802-4541

ふりがな 氏　名	
連 絡 先	E-mail： TEL：　　FAX： ※オンライン視聴をご希望の方は、必ずメールアドレスをご記入下さい。
参 加 方 法 ※いずれかに〇をご記入下さい。	1. オンライン視聴（Zoom） 2. 現地会場（定員100名）/大学内施設見学を希望する（※先着20名） 3. 現地会場（定員100名）/大学内施設見学を希望しない
備　考	

※ご記入いただきました個人情報は、このイベントに関わる目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

糸島農業産学官連携推進協議会は、平成２２年３月設立以来、「農業生産に係る研究及び生産現場のニーズについて」講演会やワークショップを開催、農産物の鮮度保持やブランド化、情報通信技術の活用、家畜伝染病、市場開拓、地産地消、スマート農業、土づくり、鳥獣害対策など、糸島農業の現場の課題に産学官連携のなかで取り組んできました。地域に根ざした持続可能なこれからの農業を、「まちづくり」の視点から考えます。どなたでもご参加いただけますので、皆様のご参加をお待ちしております。